

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	地域づくり課	市政懇談会の開催について	上田市長は、毎月、総合支所での執務日を設けて住民の声を聴く取り組みを行っていると同っている。 今年度の市政懇談会は年1回の開催であるが、笹間地区でも市政懇談会を何回か開催していただけないか。	市政懇談会については、今回27か所全部に市長が出席するが、年度内にもう1回ずつ27か所を回るのには難しい。 しかしながら、市民と話をする機会は大事なので、市政懇談会の制度とは別に必要に応じて個別に対応していく。
2	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	スポーツ振興課	県で建設予定の「多目的ドーム」を花巻へ誘致することについて	秋田の大館樹海ドームは近隣の市町村の陳情活動により完成した多目的ドームである。 県で建設予定のある多目的ドームを北上市などと連携して、冬でも土の上でスポーツやイベントができる多目的ドームを花巻に誘致してはどうか。	県の多目的ドーム計画は東日本大震災の関係で中止されており今の動きは不明である。岩手県の経済情勢、考え方からすると厳しいのではないかと。 北上市と連携してというご意見であるが、花巻市に作る場合花巻市も何か別の見返りを出さないとやってもらえないとなると、花巻の全体的な見直しの中で、多目的ドームにお金を使うべきかどうか、優先順位を皆さんと相談する必要がある。
3	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	地域づくり課	コミュニティ会議の継続について	市長の選挙公約にコミュニティ会議を見直したいとあったが、どういう視点からなのか考え方を伺いたい。	コミュニティ会議をやめるとは言っていないが、小さいコミュニティ会議からは活動が難しいという声もあるので、見直しは必要。 笹間と太田は西南中学校が一緒に交流も深い、コミュニティ会議はまだ一緒にやるという皆さんの気持ちにはなっていないと思う。皆さんと一緒にやったほうが効率がよいという場合は別だが、一緒にすることは考えていない。 コミュニティ会議を運営するのに、27人の職員人件費を含め年間約5億円かかっている。 北上市のように、市の職員からコミュニティで雇う人に変える方法もある。振興センター職員27人分のコストも考えたうえで、振興センターに市の職員が本当に必要なか検証し、費用を減らしつつ、サービスは維持していくことができなにかと考えている。
4	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	農村林務課	環境を守る会への交付金(農地・水)の有効活用について	毎年道路整備を進めていただいているが、未舗装の生活道路箇所が十数件残っている。 今年から始まった多面的機能支払交付金を道路整備に使えないか伺いたい。	基本的な考え方としては道路整備に使うことができる。 多面的機能支払交付金を道路整備に利用するためには、市道認定を外すことが条件となる。地域の了解を得られれば市道認定を外すことは可能で、地元の皆さんと協議しながら進めていきたい。
5	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	教育企画課	笹間第二小学校の存続について	笹間第二小学校と笹間第一小学校の統合についての提案を受けて数年になる。地元では笹間第二小学校を存続させ、より良い教育の場にしていきたいと考えているが、市長の考えを伺いたい。	現在、教育委員会で笹間第二小学校を統合することでの事務作業を進めてはいない。 小規模校だから学力が低いとは考えていないし、良さもあることは理解しているので、統合を押し付けるものではない。一方で、学校を維持するための費用の面も考えてもらう必要があると思う。
6	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	商工労政課	新しい工業団地の建設場所について	市長には新しい工業団地の構想があると伺っているが、北上の後藤野工業団地と連携した工業団地を笹間地区に建設するお考えはないか。	工業団地については、場所はまだ決まっていないので、コンサルタントの意見も聞いてこれから検討をしていく。 第三工業団地は農地にして貸したわけで、本当に工業団地の適地なら農地にして貸す必要はないはずである。 横志田地区にもう1か所工業団地を別に作る場合は、よほどしっかりした理由が必要である。
7	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	農政課	「賢治の教え」というケイ酸質肥料の推奨について	市の花巻米産地確立対策で、ケイ酸質肥料の助成をさせていただき感謝する。 ケイ酸質肥料が不足するともち病などの病気にかかりやすい。特に「賢治の教え」というケイ酸質肥料の推奨を図っていただけないか。	ケイ酸土壌改良剤は、花巻米の品質を上げるうえで重要である。 「賢治の教え」というケイ酸質肥料の推奨を図るべきかどうかは、農協は推奨できるかもしれないが、市ではこれだけを使いなさいとは言いきく。実際に農業に携わる方が決めていくことだと思う。
8	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	農政課	集落営農組織の法人格取得に対する支援について	農地中間管理機構を通して農地の貸し借りをすると協力金が出る制度が始まったが、利用権設定がない農地は対象外となっている。集落営農の任意組合は法人格を有しておらず、利用権設定ができない。 集落営農組織が法人格を持っていないと担い手の資格を失う恐れもあるので、法人格育成のための事業を立ち上げて支援していただけないか。	市では、集落営農組織に書類作成などの支援を行っている。 今後については農協とも相談し、具体的に何をしたらいいのか、何ができるか足りない部分を検討していきたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
9	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	道路課	「道の駅」の経過等について	西南地域振興協議会で要望している「道の駅」について、具体的な中身が見えないので、経過や今後の動きについてお伺いしたい。	4月に検討組織を立ち上げて先進地の視察を行った。設置者が花巻市になるのか、公益法人か、第三セクターがいいのか、産地直売所や道案内等いろいろな問題がある。今後のことについては、笹間、太田の皆さんと一緒に検討していきたい。
10	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	農村林務課	日本型直接支払制度について	日本型直接支払制度は、担い手に土地が集約すると周辺の農地を維持することが難しいので、地域のみんなで維持していこうという制度である。具体的な金額もでており、笹間地区の概要面積に当てはめると、1億数千円になるはずである。市から今年度の情報が伝達されないが、どう進められているのか。	6月末から各農協支所単位で説明会を開催してきている。 笹間地区については、農協と7月7日の日程で調整中で、まもなく開催する。 金額については、1億3千万円ほどの予定で申請をいただき進めているところである。
11	H26.7.1	市政懇談会 (H26)	笹間	市民税課	市民税の申告について	80代の高齢者が、市民税の申告をするために、まなび学園まで往復タクシーを使っていた。振興センターでも受付できないか。	高齢者福祉タクシー券も使えるが、近所の人たちで乗り合わせてお願いしたい。 一現在、まなび学園を会場に実施している申告相談は、専門業者への委託により、会場内にパソコンやサーバーを設けて実施している。振興センターで納税相談を実施するためには、これらの設置経費が新たに発生するほか、会場移動による機器の破損やデータの漏えいなどのリスクもあり困難である。
1	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	農政課	管理水田(遊休農地)の解消について	花巻南温泉峡の7つの温泉には花巻温泉よりも県外観光客が多く訪れる。県道沿いに管理水田(遊休農地)が多く、解消が必要と考えている。所有者の意向を確認も必要である。地域崩壊の要因となることを心配している。	簡単に解決されない問題と認識している。管理水田や遊休農地の解消は、国体開催等により人が沢山来るからとの問題とは別である。花巻の農家のためにどれだけお金をかけていくかの議論が大事。日本型直接支払制度の活用も考えられる。農林部を2名増員しているので相談して欲しい。
2	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	スポーツ振興課	東京オリンピックにおけるクレ射撃場の誘致について	国体開催に続き、花巻市は2020年東京オリンピックのクレ射撃場の有力候補地になるかもしれない。	既に行動しているが、オリンピック組織委員会からは可能性はないと言われている。県も現時点では誘致に動くつもりはない。やるとすれば、花巻市だけではなく県と一緒に動くことになる。
3	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	収納課	納税組合組織の仕組み検討について	納税組合は、かつて納税切符を各世帯に配り納税を促進してきたが、今はほとんどが銀行振込となっている。花巻市が納税組合に支払っているお金は970万円で市民の税金が出ている。本日に970万円が花巻市のためになっているのか。納税組合が本当に必要か考えていく必要がある。	納税組合の趣旨は納税意識の高揚にあり、一緒に取り組んでいる組織の運営に対し支援している。現在、コンビニでも税金を納めることができ、果たすべき役割について納貯連の会議でも議論となっている。実際に頑張っている組合もあることから、市民のみなさんの意見をしっかりと聞いて対応していくので、課題とさせていただきます。 一納税貯蓄組合法に基づく納税貯蓄組合は、納期内完納や納税思想の普及、税目毎の納期の周期、口座振替の推進などの活動を展開し、市税等の円滑な収納に寄与している。市は法の趣旨に則り、その活動に要する事務費の一部を市補助金交付規則に基づき補助しているが、その使途は事務費明細書の提出により、誤った使用や不正支出の無いことを確認している。今後も適正な補助金の執行に努めていく。
4	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	農政課	農地周辺の景観保全について	滝の沢から鉛にかけて車で走っていると一番きれいなところは大沢であり、沿道とたんぼのまわりが特にきれいである。今年見たところ、去年そばを蒔いていたところが除草剤で真っ赤になっていてがっかりした。後で事情を聴きたい。自分たちでできることは、畦畔の草を刈り、きれいにしておけばそれでいいのかなと思っている。	

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
5	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	天王橋改修について	志戸平の天王橋の改修工事はH25年12月4日に終わるはずが、伸びてH26年3月17日になったが、それでも終わらない。その後、完成とのことであったが、仕上がりに納得できず、市に出向き話を聞いてもらい、市長名で回答をいただいた。3,900万円もの大金をかけ、最高の塗料を使い、何をやっていたのか疑問でならない。また、H26年6月30日から仕事を始めると聞いていたが何もなし。もう少し緊張感を持って市の職員は仕事に取り組んでもらいたい。	工期は当初年内の予定であったが、人が沿岸部に行っていることでずつと工事ができない状態にあった。着手自体も、7月からの工期であったが、実際現場の工事は、9月末から始まっており、この間、人材や下請業者の手配など色々な調整があったと思う。着手してから何回か延びて、結果的には3月28日までの工期として工事を終わらせていただいた。 工事は、監督員の段階検査によりそれぞれの塗装を確認した。約1,100㎡ほどの塗装面積であり、75箇所を選んで塗装厚を確認している。塗装は4層で、1層あたり0.25mmで、全層確認しながら工事を進めて行った。完成検査も、覆いを取り外す際、職員が直接検査で塗装厚を確認し、最終的には別の課の検査員が検査をしている。その後手紙をいただき、状況を見たところ、隅足場などの設置場所は作業時には残るため、取り外しの際には、塗りながら足場型枠を下げていくが、塗った際に色が違っていた。 塗装厚測定器による測定結果として、設計厚より仕上がりは厚くなってはいたが、見栄えの面から塗り直しをさせたものである。6月19日に、トラスの部分が錆びているか、或いは塗っていないのではないかと指摘をいただき、翌週、道路課長自身が高所に上がり確認した。結果として、砂ぼこりの付着が大部分で、塗装が多少浮き上がっていた。ほかにも、塗装の浮きや錆びについて全て点検し補修指示した。 補修については、6月30日に事務手続きを始めており、本日も現場に作業点検に入っている。見たところ、明日(7/3)にはみなさま方へ工事のご案内をし、土曜日(7/5)くらいからリフト車を入れ点検作業を開始したい。期間は、天候にもよるが1週間程度を見込み、その結果を確認した上で、補修箇所ならびに工法を指示することとなっている。
6	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	道路要望について	湯口区長会では、個人が花巻市に道舗装工事を要望しても受け付けない。また、建設部長や市長から、湯口地区民から道路舗装工事の要望があったと言われても、湯口区長会では受け付けないと役員会で決めたという。役員会の議事録はないと言われた。このような湯口区長会の言動は、建設部長であれ市長であれ愚弄しているものだと思う。このような湯口区長会の言動を今見て、市長は、地域の方に納得するような説明をどうするのか。	市長として、確かに決める権限があると思うが、どこを舗装するか分るかと言われたら分からない。要望は多いが、要望があったものがすべて実行できるわけではない。建設部では一定の基準があってその中で優先順位をつけてやっている。市長が湯口出身だからといって優先的にやるということは一切指示したことがないし、今後もない。 区長会でも個人でも、市長に直接言っても、建設部につなぐことはあるかもしれないが、やれということは全くない。 建設部に要望を持って行く時には、地区毎に決め方というものがあると思う。これを全員が一斉に言い始めると混乱すると思うので、区長会では、湯口の中ではまとめてやろうじゃないかの決め方をしていると思う。それを私は悪いとは思わないが、納得できなくて、個人の方が建設部にいった結果、建設部が独自に受理して実施することとはゼロとは言えない。
7	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	信号機の設置要望	土地改良区をずっと上ると高速道路に突き当たるが、その高速道路をくぐらず左に約100m行ったところに、高さ2.3m、幅3.0mの洞門がある。普通車が通るととても危険で、歩行者が通ることができない。洞門の改良工事として、信号機の取り付けをお願いする。	現地を確認する。
8	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	秘書政策課	がんばる地域交付金について	がんばる地域交付金は3億2千万円ほどだが、これをどのように使おうとしているのか。	国から3億円ほどのお金が年度途中に入ってくるのが決まった。これは、花巻市が他の自治体に比較して、色々な行政指導をし、例えば職員給与、人件費を国のラスパイレスより低く抑えるなどの取り組みにご褒美的にくるものである。活用策については、当初予算に措置している事業に充当する考えである。 一当初予算に措置している賢治記念館や光太郎記念館整備事業に充当する考え。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
9	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	教育企画課	湯口中学校改築について	湯口中学校の改築が遅れているようだが、設計者の問題と聞いている。現状はどうなのか。	H25年度に基本設計を契約した業者は、基本設計ができないということで1月に契約不履行との届出をもらった。当該業者に対しては指名停止期間を設け、違約金も頂戴した。もう一度、3月に入札をし基本設計を進め、湯口区長会を始め意見をいただき配置を決め、6月30日に基本設計が出来上がってきた。H26年度は、地質調査をし、詳細な実施設計をして、H27年度からの着工を考えている。H29年度完成の見込みであるが、順調に進めば、H28年度の夏頃に生徒たちが新しい校舎に移る予定。その後に体育館の工事をするので、その年の卒業式が新しい体育館でできればいいと思っている。
10	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	水道管理設工事箇所の舗装について	鍋倉カンナ通りで、老朽化した水道管の工事に入る。過去に実施した舗装厚は薄いと聞いている。工事の埋戻しの際、この際、嵩上げて舗装ができないものか。	水道工事をしているところの舗装については、今のところオーバーレイする予定はないが、現地の状況を見て考えたい。
11	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	春日神社前の道路補修について	春日神社前の道路が地震の影響で下がっているので補修してほしい。以前に修繕してもらった箇所となりである。	現地調査の上で対応させていただきたい。
12	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	土水路の浚渫について	市道鍋倉線のカントリーのところ、タカショウ商店の前から並行してジガミ公民館バス停まで市の管理道路となっている。この道路は基盤整備でつくったものであるが、市道との間に土水路がある。田んぼの所有者において、草を刈ったり泥上げをしているが、詰まっている箇所があり、雨が降ると溢れるので泥上げをお願いしたい。	沿線の水田の方。農地・水環境保全の組織で何とか対応願いたい。
13	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	道路課	未舗装道路への砕石敷設要望	志戸平地区には「薄衣の滝」という景勝地がある。滝の遊歩道等は、高齢化、資金不足のため多方面からの協力を得て整備活動を進めている。滝に行く手前の市道が未舗装で、雨が降れば水溜りとなり、観光客が大変であることから砕石を敷設して欲しい。	区長要望であれば、配砂利要望で対応できる。現地調査の上で対応させていただく。
14	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	都市政策課	湯口団地について	湯口団地には、現在52世帯が入っているが、売り出ししている空地が後70ちよつとで埋まってしまう。全部埋まった後は、かつて400世帯構想があったそうだが、400世帯で進めるのか、それとも社会情勢を見ながら判断するのか。	市が持っている土地もあるが、どういう形で利用できるのか色々な可能性がある。
15	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	長寿福祉課	市営の高齢者住宅整備要望	市営による高齢者一人暮らし総合住宅のような、個室、交流室、保健室を備えた施設をお願いしたい。高齢者の一人暮らしは、空き家や見守りに係る負担の増加につながる。人は人と触れ合うことで元気に長生きできると思う。施設内に家族が泊まれるゲストルームがあれば、1ターン、Uターンで子どもが帰ってきた時、花巻をいいところだとここに住むという方法もあるのではないかと。	
16	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	秘書政策課	人口減少対策について	定住圏構想については市単独では困難と思うが、国の補助の検討や類似地区の優良事例に係る情報も見ながら、花巻にあった方法を考えていただきたい。最初から、地域で地域でと言われても限界があると思う。	市職員によるプロジェクトチームでの検討をまさに今やっている。対策の中に色々なことが入っている。例えば、子育てについては先進地に職員を派遣して勉強させた。色々なことを今後考え、それとは別に、お金がかかることについては別の方法も考えてやっている。
17	H26.7.2	市政懇談会 (H26)	湯口	子ども課	子どもフェスティバルについて	5月5日に「子どもフェスティバル」が開催されていたが、ある日突然実行委員会が解散させられた。青少年団体連絡協議会が実行委員会に入り、自分も会長を務めたことがあるが評判がよく、なぜなくなったのか何人からも聞かれた。親子で鯉のぼりを作ったり、触れ合いの機会として出来れば継続をお願いしたい。	子どもフェスティバルは、青少年活動に積極的な団体が実行委員会を設立し毎年開催してきた。実行委員会構成団体の減少や高齢化の課題、子どもフェスティバル以外に参加できるイベントがあること等から、構成団体間で協議し実行委員会を解散したものである。今後は、子どもセンターや保育園にある地域子育て支援センター事業を充実するなど検討していく。
1	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ①	稗貫川の下町地内の護岸について、危険箇所が多数あり、立木も多く、風雪で倒木することもあるので整備してほしい。(個人で護岸工事できる状況ではない)	現地を確認し、県管理河川であるため、すぐに県に要望を上げた。早急に対応が必要と考え、県に強く要望していく。また、河川の流れを変える方法も検討の一つに加え進めていく。県には、引き続き要望を行っていく。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
2	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ②	柳橋～新大橋間の左岸堤防の榎の木(ケヤキ)が大きくなって景観が良くないので伐採してほしい。	現地を確認し、県管理河川であるため、すぐに県に要望を上げた。平地部分については、樹木の伐採は可能であるが、法面については、道路法面の保護の役目を果たしているため、無理に法面部分の樹木は伐採できない。県では平地部分を伐採することで進める。県には、引き続き要望を行っていく。
3	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ③	新大橋下流左岸の榎の木(ケヤキ)の先端の枝が、橋の歩道に伸びてきている。強風で折れて、通行人に危害をおよぼすおそれがあるので伐採してほしい。歩道上部の高い枝も、強風等で折れることも考えられるので整枝してほしい。	現地を確認し、県管理河川であるため、すぐに県に要望を上げた。樹木の枝の伐採は、木の所有者(生えている土地の)が行うことで、民法で定められている。市道などにはみ出ている樹木の枝については、広報紙等を通じて伐採していただくよう周知している。今回の場合、所有者にお願いしたところ、市で切ってもらえるのであればいいとの返答をいただいたので、2～3日中に伐採する予定。県には、引き続き要望を行っていく。
4	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ④	榎の木が倒れし川に流れるなどした場合、新岳南橋の橋桁に引っかかって、下町地域が洪水となってしまう。昨今、観測史上最大の大雨が記録されているので、その辺も念頭に置いて、進めてもらいたい。また、小学校から水辺の学校までの川辺にゴミが散乱している。	榎の木は、木全体が腐敗している。県では、道路パトロール、河川パトロールを常時行い、注視すること。市としても、注視していく。ごみ処理について、手におえない場合は市で行うが、地域で可能であればできる範囲でお願いしたい。現地を確認して対応したい。
5	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	河川の危険箇所等について ⑤	柳橋から大橋までの樹木管理について、防犯灯に覆いかぶさった箇所がある。(元山田商店の裏手「花巻市」の表示有) 河川と民地の境であるため、所有者の特定は難しいと思うが、対応をお願いする。 (川原町行政区長より)この件については、すでに総合支所地域振興課へ報告済みである。	お話を伺ったのち県に連絡した結果、県で進めているとのことなので、今しばらくお待ち願いたい。
6	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	防災危機管理課	防災無線の音量について	火災時のサイレンが聞こえづらいので音を大きくしてほしい。また、スピーカーの増設はできないか。	平日の8時30分～17時15分までの間であれば、防災無線を使って火災等の周知を行っている。現在は、設備の最大能力で音を出している状況であるため、これ以上の調整をするとすれば、音質を変えるなど既存の設備でできる限りの対応をしたい。その他にも、携帯電話に花巻市消防本部からメールで流すサービスも行っているため、情報の収集方法として個々に設定してほしい。暴風災害などでは、防災無線は有効的ではないため、FMはなまきで防災情報を提供していく。地域によってはラジオも聞こえづらいため、TVの共同アンテナを活用し、放送を傍受できるよう勧めている。昨年8/9の豪雨災害時は、有効な情報伝達ができなかったことを踏まえ、警戒情報等が発表された場合には、携帯電話のエリアメールを活用し、お知らせするという手段を進めている。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
7	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	防災危機管理課	災害情報等の伝達方法について	防災無線設備について、こだまして何をいっているかわからない状況である。要望があり市で取り組んだ後は、住民への確認作業までを行っている。 また、合併してから防災無線が聞きづらくなったように感じる。FMはなまき・携帯メールとの話だが、災害時の弱者は高齢者であり、携帯電話等のハイテクを必要としない世代である。ローテクの仕組み作りが必要なのではないか。携帯電話等を使いこなせる方だけが情報を持つてというのは不公平ではないか。	合併前に整備した無線であるが、設置直後から聞こえづらいとの意見があった。調査を行い、向きを変えるなどの対応をした経緯があるが、現在に至っている。 現在は4方向であるが、6～8方向にできないかと業者に確認したが、スピーカーが向いているご家庭からうさいと苦情があることが懸念されたため、現存の設備はこのまま活用し、新たなツールで情報伝達を進めている。 花巻・石鳥谷は防災無線や有線放送設備がないため、情報伝達方法は広報車の巡回等であったことから、皆さんが傍受できるFMはなまきでの伝達を進めてきた。 ご指摘のとおり、携帯電話へのメール等は高齢者の方々には、分かりづらい仕組みであるが、その中で皆さんにお願いしたいことは、高齢化している中でも、地域の方々が高齢者を支える、弱者を支えることで組織されている「自主防災組織」で日中・夜間にかかわらずお互いに協力できる仕組みづくりとして取り組んでいただいている。 防災無線の位置づけは大迫のみであり、これ以上お金をかけて整備することはなく、代替としてFMはなまきを活用する政策決定だったと思う。現在、本当に危険な箇所については、防災ラジオを配備しているが、全市的に配布することは難しい。行政区長や危険箇所については、市で設置している方法のほうが現実的ではないか。 大迫地域の防災無線は、日中のみで夜間・休日は放送できない。防災無線に頼っているばかりでよいのかと不安を感じている。防災ラジオの活用について、皆さんと相談しながら対応していく。
8	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	文化財課	神楽大会について	過去に数回開催している全国神楽大会の実施と、実施にあたっては大迫町での開催を要望する。	過去の大会は相当な経費が掛かっている。初めに、本当に大迫を会場として開催したいのか意見をまとめてほしい。 H18年に開催した際は県の補助金があったため、大きな大会を実施することができたが、現在の市の財政状況を考えてと花巻の規模にあった大会を実施することが必要と考えている。ぜひ大迫で開催したいとの意見がまとまれば、実行委員会を組織し、皆さんでどのような大会にしたいかを相談しながら進めていきたい。 今までの経緯から、節目の年はH28年となるが、国体や賢治生誕120周年が重なっているため、スケジュールなど早めに相談しながら進めていきたい。 H18年は愛宕山公園に仮設テントを設置して実施したと理解している。H21年は総合体育館で花巻の団体を含め20団体で実施している。国指定重要無形文化財40周年を迎えるにあたり、大迫で実施したいという趣旨であれば大迫でやることはいいと思う。 規模等については検討する必要があるが、地域の皆さんと相談しながら進めていきたい。
9	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	観光課 大迫総合支所地域振興課	カントリープラザ跡地について	観光や災害時の避難場所などの複合的な施設としての建物が必要と考える。地域のまとまった意見として要望すれば考えていただけるのか。	現在、ぶどうの丘全体の今後の方向性について総合支所を中心に検討している。具体的な案はまだ把握していないが、案が出てきた段階で一番いい方法を考えて、地域の皆さんに提案させていただきたい。 新しい建物を作るというのは手が回らないだろう。早池峰観光の経営状況が悪く、市が毎年数千万円いろんな形で支援しているが、来年3月まで持つか厳しい状況である。 ワインハウス関連施設を残す前提で、方法を検討していただいているが、今までのやり方が見えてこない。湖畔の指定管理料で、周辺設備の維持管理として多くの金額を支出している。指定管理料として詳細が見えない形で出しているのは、あまりよくないと考えている。 まず、今ある設備を残すことを前提に考え、その後、跡地の利用を別に考えていかなければならない。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
10	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	教育企画課	大迫中学校校舎改築について	現在の状況を具体的に説明してほしい。 住民主体の組織で検討していくようだがどのような構成の組織になるのか。今後のスケジュールを教えてください。	昨年は手違いにより、情報のみで先行しご迷惑をおかけした。 大迫中学校は、早く改築したいというのが結論。 そのため、地域協議会で今後の進め方について協議をしていたが、推進組織となる中学校改築協議会を立ち上げ、6/25に1回目の中学校改築協議会が開催された。改修計画のご意見を伺い、また、最優先で決定したい建築場所を選定していただくため、「大迫中学校の敷地内」、「大迫高等学校の敷地内」、「外川目振興センターの敷地」の3つの案を示した。 会議に出席した関係者が持ち帰り、団体ごとにご意見をとりまとめている状況である。7/29に再度会議を開催し意見を集約して、その会議で場所が決定すれば、地域協議会に諮問・答申を行い、基本設計を行う。 学校の規模は、入学者の推移をみると5学級で推移、年によっては生徒数が2桁になることも見込まれるため、今の中学校のような大きな校舎ではなくコンパクトになることで考えている。早めに着手したい。
11	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	総務課	教育委員の選出について	教育委員に大迫出身者がいないが、適任者がいないということか。	教育委員の任期は4年で、大迫の方が退任されたときに別の地域の方を任用した。東和の方が退任した際は、東和の方を任用した。 任期が4年のためすぐに変更できない。本人がまたやりたいという場合は、なかなか断れない。適任者がいないわけではなく、前回選任できなかったということで、ご理解いただきたい。
12	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	教育企画課	大迫中学校改築スケジュールについて	6/25に文化会館で木造校舎のシンポジウムがあった。トータルコスト・環境問題では木造がいいという内容であったが、工事に3年かかるという内容であった。 市ではH29年度完成予定とのことだが、決定するプロセスの中で、市民が関わる部分をオープンにしてほしい。また、噂レベルで完成年度がH29年度とのことだが、市の方のスケジュールを教えてください。 子どもたちのために、よりよい中学校の建設をしていただくようお願いする。	建築場所によって、完成年度が異なると思われる。仮に現在の場所であれば、地形・地質・土砂災害・水害・日当たりなどの問題がある。一番早く作れるのは、現在校舎がない場所に並行して建てるのが早い。例えば、湯口中学校はH28年度に教室を使えるようにするが、卒業式に体育館を間に合わせるの難しいかもしれない。 校舎づくりは最低3年、その他問題があれば4年かかる。 現校長に、どういった教育をしたいか検討していただいている。大迫ならではの教育文化に沿ったハード建設を行わなければならない。湯口は豪雪地帯であるため、湯口中は内部のみ木質化とする予定。西南中学校も内部のみ木質化している。大迫中学校の木造・木質については基本設計に入る段階で、地域の要望・予算・材料確保の時間などを含めながら結論を出していきたい。
13	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	文化財課	南部タバコ資料館について	現在、閉館しているようだが、植木の手入れなどのメンテナンス等もしていない状況があるので今後どうするか教えてください。	たばこ資料館は大迫のたばこ文化の伝承のためS61年に南部たばこ耕作組合により建設され、その後旧大迫町に寄付されたものである。収集されている資料は、貴重なものが多く日本の中でも、重要なもので福島の数倍に係る資料もあり、設備の老朽化及び管理責任という観点からデータ化を行い文化財センターにおいて、管理している現状である。 資料館は、建物的に魅力ある建物で、建設時にはたばこ生産者の方々から、多額の寄付をいただき建設されたものと認識している。老朽化について、床が傷み、水回りがなく使い道が限られている。地域での活用について打診した経過もあるようだが、地域からのご意見がいただけなかったようだ。将来的な使い方については、現在模索中である。もし、地域の要望として活用したいという話がないのであれば、市全体として資料の保管場所が限られていることから、民具の保管場所としても活用できるのではないかと考えている。 皆さまのご意見を頂きながら選択肢を広げ、管理については地域の方々からのご協力をいただきながら進めていきたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
14	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	信号のない交差点での安全確保対策について	<p>事故が多発している交差点について、一時停止看板を設置しているようだが、看板に気づかず通り過ぎる車が見受けられる。看板を目立つようにするなど、徹底してほしい。</p> <p>何回も要望しているが、交通事故の多い少ないにかかわらず、通学路にもなっているため、子供の安全確保の観点から何とかお願いしたい。</p> <p>・市道大迫病院線と主要地方道盛岡大迫東和線の交差点(下町) ・主要地方道盛岡大迫東和線と市道向山根線の交差点(亀ヶ森8区)</p>	<p>道路標識については、公安委員会が管轄している。確実に一旦停止ができる看板の設置をするよう公安委員会に要望していきたい。</p> <p>市でも看板の設置はできるので、現地を確認し、できるだけ有効な手段をとらせていただきたい。</p>
15	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	文化財課	早起きマラソン会場のトイレについて	<p>市で推奨している早起きマラソンに参加しているが、会場となっている愛宕山公園ウォーキングコースにはトイレがなく、参加者が不便に感じている。</p> <p>文化財センター職員駐車場にある公衆トイレの開放について、何度か要望しているが、対応してもらえない。1時間でもいいから開放していただきたい。(6月・9月)</p>	<p>明日にでも、現地を確認し開放できるかできないかを決定し、ご連絡する。</p> <p>→懇談会翌日(7/8)実施主体にスペアキーを貸出した。</p>
16	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	総務課	市の職員の地域行事への参加について	<p>地域行事などで頼りになるのは、やはり市の職員である。職員が地域行事に参加しやすいような職場づくりをお願いしたい。</p>	<p>祭りの参加については、言っていただければよい。</p> <p>職場においても、年休取得への配慮や職員が参加しやすい雰囲気づくりに協力するよう指示しているところである。率先して地域行事には出るようこれからも進めていきたい。</p>
17	H26.7.7	市政懇談会 (H26)	大迫	道路課	道路の景観保全について	<p>大迫交流活性化センターから文化財センターまでの登り坂を毎朝散歩しているが、法面の草やコケ・樹木の枯れ枝が放置されているなど景観が悪い。</p> <p>観光客が歩くには見苦しい状況なので整備してほしい。</p>	<p>現在、道路整備に向けて設計中(公園2号線)。</p> <p>道路が完成すれば景観もよくなると思うので、今しばらくお待ちいただきたい。</p>
1	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域振興課	今後のコミュニティ会議のあり方について (交付金について)	<p>将来的に財政規模を現在に比べ約50億円ほど減額する予定だと聞いているが、各コミュニティに交付している交付金は従来どおりとしていただきたい。交付金額に見直しが出た場合に一つのルール提言がある。</p> <p>大瀬川活性化会議は27地区ある中で交付金額が一番低く(439万円)、ほとんどがソフト事業であり、他地区で行っているハード事業、いわゆる舗装工事や側溝工事にほとんど取り組めない。そこで、交付金600万円以下のコミュニティ会議がハード事業に取り組めるよう、別枠で使用できる上限を設けて1,000万円程度交付金を確保しておくとか、交付金の算定に基本割、人口割、面積割のほかには整備率を参入するとか検討してはどうか。</p>	<p>実際使えるお金は確かにコミュニティによって差はある。交付金を何に使うべきか議論しなければ収拾がつかない。地域(コミュニティ)に任せようがいいのか、支所単位にしたほうがいいのかも。交付金2億円を減らす考えはないが、皆さんの意見を聞いて判断したい。市職員の状況は、合併して930人にまで減っている。仮に振興センターの職員を引き上げたとしても余裕があるわけではない。意見を聞きながらいい方法を考えていきたい。</p>
2	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域振興課	今後のコミュニティ会議のあり方について (コミュニティ会議の検証について)	<p>コミュニティ会議が誕生して8年が経過しているが、職員もコミュニティ会議も人事異動等で大幅に変わってきている。職員は地域づくりを理解しているか、正しく地域を指導しているか。コミュニティ会議では交付金の使い道が適切か、ルールを理解して事業を行っているか、など納得して事業に取り組む、不明な点などは検証しながら見直すべきだと思う。全体の学習会を行ってはどうか。</p>	<p>学習会については、8年前に戻るつもりはない。新しいもの(制度等)を導入するときには、それを踏まえた勉強会や説明会をやらなければならないと考えている。</p>
3	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域振興課	今後のコミュニティ会議のあり方について (要望書の提出先について)	<p>コミュニティ会議から市へ要望書を提出する際、道路整備関係はルール化されているが、そのほかはどこに出せばいいか、要望についての役所内の取り決めがあると思うが、わかりやすくご教示願いたい。</p>	<p>案件によるが、要望書はできるだけ総合支所に持ってきてもらう。総合支所の機能強化はそういうことを踏まえて考えていきたい。</p>
4	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課 石鳥谷総合支所 地域振興課	今後のコミュニティ会議のあり方について (プールの指定管理について)	<p>大瀬川活性化会議では、市から施設の指定管理等を受託しているが、大瀬川運動公園内のプールも管理受託している。児童数の減少でプール監視する世帯も少なく安全面で心配もあるし、ろ過機も年数が経過し、いつ壊れるか心配である。市では、当地区のプールの存続をどう考えているのか、ろ過機が壊れれば廃止せざるを得ないとか市の方向性をお示し願いたい。</p>	<p>今は具体的にお答えできない。もっと事務レベルで、総合支所で考えさせていただきたい。</p>

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
5	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	道路課	道路の整備について	ここには宮沢賢治が歩いた葛丸溪流という景勝地がある。岩手国体に向けて、その道なりは道幅が狭いので、大型バスがスムーズに通れるような整備をお願いしたい。	道路整備は区長がとりまとめ要望していくものだが、なかなか生活道路の整備の順番が回ってこない現実もあるので、国体のためだけに整備するのは難しい。
6	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	国体推進課	国体会場駐車場の整備について	体育指導員をしていたことがあり国体等にスタッフとして従事した経験から、スタッフ用の駐車場が遠かったり、来場者等の関係ですぐに出られなかった。スタッフにも配慮するようお願いしたい。	駐車場の整備等は、できるだけスタッフに負担をかけないように考えていきたい。
7	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	生涯学習交流課	石鳥谷生涯学習会館の畳替え等メンテナンスについて	石鳥谷生涯学習会館を利用しているが、畳の表替えやふすまの張替えを行っていないようで、ふすまは破れ、畳は磨り減っている。補修等既存施設のメンテナンスをお願いしたい。	現在国のほうで公共施設の補修について、新しいプランがあり、市でも公共施設の補修計画を立てていかなければならない。その中で長期的に考えるが、緊急に補修の必要のあるものについては対処する。石鳥谷体育館の天井が落ちそうだとの連絡を受け、確認しすぐに対応した経緯がある。生涯学習会館の畳等についても調べたうえで補修の必要があれば対応する。 →石鳥谷生涯学習会館は、畳及びふすまを修繕済。(平成26年6月27日着工、平成26年8月8日完了)
8	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	生活環境課	石鳥谷斎場の維持について	花巻市の火葬場をしみず斎園に集約すると遠くて不便になる。石鳥谷斎場は市内湯本地区のほか、市外からの利用もある。古くなっているが、石鳥谷斎場を廃止しないようお願いしたい。	廃止するという予定はない。ご意見として承る。
9	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	農村林務課	「葛丸一の滝」への昇降階段の整備について	花巻市内で一番美しい滝は、「葛丸一の滝」だと思っているが、そこに降りる階段が上のほうに3分の1しかない。下のほうまでつなげるのにそんなに経費もかからないと思う。今まで手をかけられなかったのは、保安林の関係だと思う。今は国立公園でも手続きをすれば建物が建つ時代なので、階段の整備もできるのではないかと。何とか整備をお願いしたい。	「葛丸一の滝」の階段は旧石鳥谷町で整備したと聞いている。国有林か保安林指定か調べてみなければならぬ。当方で調べる。
10	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	地域づくり課	コミュニティ会議の件費について	先ほどコミュニティの件費の話があったが、農地・水の事務局をやっている経験から、最初はやりくりが大変だった。いろいろな機関からの指導があり、事務量が増えても事務が楽になったり、人件費も圧縮してできるようになったので、人件費も抑えられと思う。	コミュニティ会議の人を減らすことはそう簡単ではないと考えている。
11	H26.7.11	市政懇談会 (H26)	大瀬川	農村林務課	分収林契約の履行について	平成9年5月大規模な山林火災があって大きな被害があった。当時分収林組合の組合長をしていた。火災に際して、県も町も森林組合も真摯に対処した。その後、当時の町長と営林署と取り交わした契約(植林、育林等について)があるはずだが、きめ細かな契約であったと記憶している。現在は、管理が滞り、用材の価値もないようだ。契約が履行されてなく残念である。省みられないのは情けない話である。	発言のような取り組みの書類がどうなっているか調べてみる。対応については、その内容を確認してから。
1	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	生活道路(市道)の整備促進について	上浮田～北上線を整備してもらい、幹線道路に相応しい形にしてもらった。現在着工中の市道茶畑線(下浮田)、下丸内線(中内)の工事促進もお願いしたい。まだまだ幅員の狭い道路が多く、整備が遅れている。冬は雪が降ると除雪が間に合わず、大型車が入って来られない。離村を促している部分もあるのではないかと。多くは望んでいないが、一番大事な生活道路はぜひ整備促進をお願いしたい。	上浮田～北上線については、途中で不適切な工事がやり直した部分もあったので、皆さんにご迷惑をおかけして申し訳ない。土木施設要望は、市内全地区から1年間で400件の要望がある。すべての現地確認をし、危険度の高さ、交通量、住宅が連立しているなどを勘案して、予算の範囲で順次実施している。毎年対応できるのは100件程度。要望の際は土地の協力も併せてお願いしたい。
2	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	市道の整備について	合併時にUターンしてきた。道幅が狭く土側溝が軟弱、除雪もできない。柴田線の整備をお願いしたい。	花巻のインフラは遅れている。花巻市は面積が広く人口密度が低い。投資的経費が45億円あるが足りない。来年度は61億円くらいで、今より多くの予算を道路に使えるかといえばそうではない。来年度は、湯沢野の排水路に7億5千万円かかる。すぐに道路の予算を増やすのは難しいが、できるだけことはさせていただく。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	市道の冬場対策について	整備が難しいのであれば、冬場の対策として待避所などの手立てをしないと大変。 事業採択の際には、担当者だけ見るのではなく地域の人に立ち会ってもらい実情を聞くべきではないか。整備率の低い地区は低いままでではなく、いつか一気に上げてもらいたい。	現地と一緒に確認することは必要なことなので、区長さんやコミュニティの会長さん立ち会いのもと確認していきたい。 整備率はどうしても市街地などのほうが高くなるのだが、現地確認をして緊急度・優先度の高いものから進めていきたい。
4	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	地区ごとの整備路線数について	コミュニティ会議で順番をつけて要望している。1コミュニティにつき3.7路線が平均と聞いたが、上浮田線の完成が遅れたことも加味して今後の整備を考えてほしい。	以前は各地区で均して採択した経緯もあるが、現在は現地を確認して採択している。整備路線が1件または0の地区もある。地域ごとに差もあるが緊急度のあるものから進める。
5	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	排水路整備の要望	太田目沢の排水路整備の要望をしているが、U字溝が古くなっている。下のほうには石がたまっており、人力では処理できない状況。 要望を続ければ叶うのか。順番を決めて要望して待っていたが全く先が見えない状況なのか。	排水路は国の補助金がないが、どうしても被害が拡大するなどという場合は対応するので相談いただきたい。 土木施設要望でいただいているのであれば、現地を確認して進めたいと思うが、今は農地・水の制度で整備できる部分もあるので、相談させていただきたい。コミュニティ会議とも協議し、検討してお知らせする。
6	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	道路課	除雪の実態と要望	毒沢からこちら(浮田)側は雪が多いが、業者は土沢に雪が無いと除雪に来ない。 市道は雪が厚いし除雪に来るのも遅い。除雪に来ない地域もある。地域にあった除雪をしていただきたい。	県には大型除雪機があり、広いところを何回も作業できる。市の場合、降雪が10cm以上の時に対応している。パトロールはしているが、皆さんから情報をいただければと思う。冬期間は夜間でも土日でも連絡がつくようにしているので、総合支所に連絡していただきたい。
7	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	農村林務課	山の資源利用が促進されるしくみの構築について	松枯れ以外にも山は荒れている。生活する人間がなかなか山に入らなくなった、利用しなくなったことも要因だと思う。山の資源を利用するという前向きな対策があるのではないかと。十分ではないかもしれないが、今の生活の中でよく利用することを考える必要がある。 コミュニティ会議で煙突の見える村づくりを進めることとし、どのように組み立てるか考えている。 今の生活の中で上手に使う具体的な勉強会も必要だが、制度的にも対策が必要ではないか。例えば、製材ステーションをモデル的に整備して、作れる人と利用する人を結ぶような仕組みなど、このようなことをやれば資源利用が進んで山が活かされているという感じがする。	木材の利用は重要なこと。北上に「北上プライウッド」という会社の合板工場ができる。合板工場は、今までは輸入材を使っていたため沿岸にできていたが、海外の木材資源がなくなってきているので、国内の森林資源が見直されている。 バイオマス発電は1社諦めたが、ほかの会社ができるか働きかけるところ。バイオマス発電には程度の悪い木材を使うことができる。量が少ないと採算が合わないが、様々な木材を使うことができステーションができないかということも考えている。 松枯れ対策は、防除は間に合わないので、まだ大丈夫なところを何とか防除している状況。 林野庁で「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」という10割補助の事業がある。1ha当たり16万円くらいで、地域の皆さんが枝払いや下草刈りをするのに使える。また、「県民参加の森林づくり促進事業」というものもある。このような事業を活用して地域全体で山の手入れをしていけばいいのではないと思う。 一広報活動をして、市のほうから説明会を開いて進めるように。
8	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	農村林務課	獣害対策について	獣害については、コミュニティ会議で研修会をして、どう対策したらいいか勉強したり、用具の購入補助をしたりしている。(簡易な電気柵の購入・設置、箱罠の購入) ハクビシン程度はコミュニティ会議の事業でなんとかなるが、ニホンジカがどんどん増えて群れている。水田被害を防ぐための柵を作りたい場合は市の事業をお願いしなければならない。	電気柵の助成やハクビシンの罠は十分でない。電気柵については予算が限られているが、必要なものは使っていかなければならない。今年の予算が万が一足りなくなったときは考える必要がある。 ニホンジカの対策は捕殺という方法もある。国の交付金事業で、H25年度の捕獲頭数は100頭だったが、H26年度は300頭まで増やした。実施隊に委託をしている。
9	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	生活環境課	太陽光発電について	市有地である浮田小学校跡地のグラウンドも適地ではないか。	太陽光発電をやりたいという企業があったが、花巻市が将来使うかもしれない土地を20年貸すことはできないので、市有地の広いところ2か所は断った。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
10	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	こども課	保育園の存続について	子どもたちの声を聞くことが少なくなってきた。保育園は統合されるという話もあるようだが、保育園は地域に長く残していただけるのか。今後の方向性をお聞きしたい。	教育委員会でまだ具体的な構想はない。来年度4月に施行される子ども・子育て支援新制度に向けた事務があり、保育園再編の検討には時間を要する状況。 公立保育園は正職員が少ない状況にあり、この状況が良いと思っていない。花巻地域は法人に移管することも考えられる。旧2町は公立のままになると思うが、現在の園数のままでいいかどうかは検討課題。皆さんと話し合っていかなければならない。
11	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	秘書政策課	人口減少対策について	増田前知事が座長を務める「日本創生会議」で「地方都市が消える時代」を危惧しているという話があったが、政府でも今後検討委員会をもつようだ。 これらを受けて、花巻市でも何か考えがあるのか。	日本創生会議では、子どもを育てる環境を良くすることと、地方から東京への移住を抑えなければいけないということを言っている。そのためには地方に拠点都市を作らなければならない。 国土交通省の案では、10万人都市が集まって30万人くらいの人口圏のところを拠点都市にしようという話もあり、そうすると花巻と北上、奥州も合わせて拠点になり得る。 市では市役所内で人口減少対策のプロジェクトチームを作ったので、やれることはどんどん進めていきたい。 北上などとも協力して拠点の都市になり得るように国にも働きかけていきたい。
12	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	生涯学習交流課	モテモテ塾について	モテモテ塾は若者の意見を聞いて企画したのか。都会から講師を招聘しているようだが、地域で考えた企画をしていただければと思う。(甥に勧めたが応募しにくい様子だった。)	結婚させる仕組みを考えるのはなかなか難しいが、若い感覚を活かしていくことは必要。市の職員だけでなく若い市民の意見を聞きながら進めたほうがいい。
13	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	東和総合支所地域振興課	毒沢公民館の水道の水圧について	毒沢公民館の水道の水圧が高すぎる。それが原因で不凍栓が壊れたのではないかと考えられる。 以前の市政懇談会でもお願いしていたが、どのような状況か。	適切な水圧で供給するのは水道管理者の責任。水道企業団に状況を確認してみる。 →水道企業団に聞き取りをしたところ、毒沢地区の水道管の圧力が強くなったのは、平成18年度に砂子地区を編入したところ、砂子地区の山側(大瀧神社もと)まで送水圧を高めたためであり、水道管の本管の圧力を低減させる減圧弁を水道企業団側で実施する方針であることを確認した。 具体的にはH26年度は調査設計を行い、H27年度に工事を行う予定である、水道管の圧力は1.5kg/cm ² から7.5kg/cm ² 以下が適正圧であり、毒沢地区の現圧力は8~9kg/cm ² であるとのこと。 個別に減圧弁の設置に補助する制度はないかと問い合わせたが、無いとのこと。
14	H26.7.17	市政懇談会 (H26)	浮田	秘書政策課	東和高校の跡地活用について	介護関係の学校が東和高校跡地にくるという話だったが、調査をしたら生徒が少ないのでやめたと聞いた。施設の活用と若い人たちが来ることで活気が出るのではないかと期待した。これまでの経緯を聞きたい。 過疎化が進む中で、生徒が少ないからこそここに来る意義があると思うが、定住対策で活用する考えはないか。	大震災の前に、東和高校跡地に看護専門大学を開設したいという法人があった。市としては前向きに、法人と一緒に県教委に行って相談してきた。 災害のおかげで少し遅れたが、国の補助申請に向けて構想をきっちり作る段階まで至り、昨年度県内の高校2年生にアンケート調査を実施したが、国の基準となる数値に至らなかった。法人としても開学を断念せざるを得ず、今年度になってから市に報告された。国の要件も取れなかったため、公表することも地域の方々や相談することもできないまま計画が頓挫してしまったというのが現状。 東和高校の跡地活用については今のところ目途が立っていない。 開学したいという法人があれば誘致したいが、今回の例を見てもなかなか難しいと思う。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	地域づくり課 スポーツ振興課 国体推進課	江曾運動広場の整備計画について	江曾運動広場は地域の交流の場としての使用はもとより、最近では各種グラウンドゴルフ大会の会場としての利用や、石鳥谷ふれあい運動公園で行われるソフトボール大会における練習会場になったりと、多目的に大勢の方々に利用いただいている。しかし、トイレが1か所しかないため、大きな大会の際には、隣接の江曾自治公民館のトイレを利用するなど、不便な現状である。また、グラウンドに設置された屋根つきのベンチは老朽化が進み、改修が必要と思われる。2016年のいわて国体では、石鳥谷ふれあい運動公園がソフトボール競技の会場になっていることから、江曾運動広場が練習会場になることも想定されるので、市の整備計画について伺いたい。	江曾運動広場の管理は総合政策部地域づくり課が担当している。普段からご利用いただいているわけだが、ご不便をおかけして申し訳なく思っている。この施設については、花巻空港の敷地内ということで、昭和56年に旧石鳥谷町が岩手県から占用許可をいただいで、スポーツによる地域づくり、コミュニティの場として活用するというので、スポーツ施設として活用いただいている。 現地を確認したが、トイレは簡易水洗トイレで、男性用・女性用ひとつずつしかなく、江曾公民館のトイレを使わせていただいている状態にある。また、屋根つきのベンチも、確かにフレームが錆びたり、ベンチそのものも真っ赤に錆びているのを確認した。利用状況・必要の有無等勘案し、今後しっかりとした改修対応を検討しなければならないと思う。 総合的に、江曾運動広場については、スポーツ専用施設ではなく、地域のスポーツコミュニティの場ということなので、専門的な改修計画はないが、利用状況については、地元の江曾運動広場管理運営委員会そして振興センターあるいは総合支所でも対応しているので、状況をお聞きしながら今後検討していきたい。 国体のソフトボール競技は石鳥谷ふれあい運動公園を競技会場として計画しており、県ソフトボール協会、県の事務局と協議しながら、宿泊輸送計画と絡んでくるので、目安となる練習会場はめぼしをつけている。詳細は県ソフトボール協会と精査し、必要があれば増やすなどの対応があるが、現在の対応では、江曾運動広場は練習会場として予定していない。
2	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	地域づくり課	江曾運動広場のトイレの整備について	国体のソフトボールの練習会場になっていないという話だが、ここではグラウンドゴルフの大会がある。先日も石鳥谷町のグラウンドゴルフの大会があり、約140名の参加者があつたし、八幡地区では月に3回(90名/1回)グラウンドゴルフの利用がある。トイレは外に1か所、男性用・女性用各1基あるだけである。プレイが始まるとトイレに行けないため、10分くらいの休憩時間になるとトイレが大混雑する。江曾自治公民館のトイレもフル回転。汲み取り料もかさむし、トイレ掃除も大変である。グラウンドゴルフの大会は、石鳥谷町内ではここだけである。なんとかトイレを設置願いたい。	状況をお聞きした。地元、地域の体育協会など、利用している方々から聞き取りして、しかるべき対応をしなければならぬと感じた。情報をいろいろ教えてほしい。
3	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	地域づくり課	江曾運動広場の環境整備について	江曾運動広場グラウンドの脇に自分の畑があるが、トイレに間に合わなくて畑に用を足す方もいる。ぜひトイレを設置していただきたい。 江曾運動広場にはちょっとした庭園があるが、ドウダンツツジは伸び放題で、ぜんぜん手入れがなされていない。雪が降ると倒れたり、見る影もない。桜も大きくなって手入れがなされていない。樹木等周辺を含めた整備をお願いする。	ご迷惑をおかけして申し訳ない。状況を捉えて皆さんと話し合いながら進めていく。
4	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	道路課	街路灯の設置について	当協議会では、地区内の自治公民館単位にふれあい懇談会を実施して、地区内のいろいろな意見を聞いているが、県道中寺林犬淵線の、石鳥谷総合支所と葛丸橋の間の歩道が暗くて、とても危険だという話が出ている。通学路なので、事故が起こらないよういい方法で解決してほしい。	基本的に、道路照明の設置については、道路管理者は道路の交差点、橋の周りを主に設置している。街路灯は、地区コミュニティ会議にお願いして進めている。ただ最近では、子供に絡んだいろいろな事件も発生しているため、そういう面でも設置等について、道路管理者(県や市)で取り組まなければいけないと思う。学校のほうからも意見を聞きながら、総合的に決めていきたいと考えている。
5	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	国保医療課	人間ドック受診にかかる補助金の交付について	毎年人間ドックを受けており補助金を出してもらっている。申請して補助金が出るまで時間がかかるようだ。申請の際に条件を確認してもらいながら提出しているのだから、もっと迅速にできないかと感じている。盛岡ではすぐ補助金が交付されるという話である。盛岡に聞いて参考にしてもらいたい。せっかく補助金をもらうので、もらうなら早いほうがいいと思う。	補助金について、調査して改善すべきところは改善していく。 →当市の人間ドックに係る補助金は、原則15日までに申請した場合は当月30日、月末までに申請した場合は翌月15日の支払と、申請してから遅くとも1月以内に振り込んでいる。 なお、市内に実施機関の多い盛岡市では、市内の人間ドック実施機関と契約し、検査料金の負担は市補助分を差し引いた分を負担すればよい方式をとっているが、花巻市は実施機関が少ないので市内にかかわらず全国どこでもドックを受検できるようにしており、これに補助している。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
6	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	生涯学習交流課	姉妹都市等への生徒の派遣 について	国際交流について、旧1市3町にそれぞれ交流先があり、それぞれに思い入れがあると思うので、その思いを吸収して具現化してほしいと思っている。合併してから2回、石鳥谷中学校の生徒がラットランドに派遣されなかったということを知り、驚きと失望を感じた。派遣生徒の選考にあたっては、たとえばラットランドへの派遣については石鳥谷中学校の生徒を、クリントンへは東和中学校の生徒を、そしてベルンドルフについては大迫中学校の生徒を、優先して最低1名を派遣するとか、競争もあるとは思うが、特別枠を設けるとか、旧1市3町の思いを活かす国際交流を行えるよう、(派遣事務を行っている)花巻国際交流協会を指導していただきたい。	そのとおりだと思う。合併前に始まり、お付き合い・思い・気持ちを積み重ねたものであり、派遣の枠組み、考え方、交流の相手先等、実態や内容を確認しながら、国際交流協会ともよく話し合いをしていきたい。
7	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	秘書政策課	広報紙でのカタカナ用語の使 い方について	先日広報紙が届いて中身を見ると、「パブリックコメント」というカタカナ文字が目飛び込んできた。広報は8割方わかるような表現で書かれたほうが良いと思うが、わかりにくかった。カタカナ文字の次に日本語を括弧書きで表現するなどの工夫をしたほうが良いと思う。	広報紙の編集は中学生がわかるように作っている。カタカナの用語が新聞でも主流になっている。老若男女がわかるように表現している。わからない用語は解説をつけるとか配慮した形での広報紙づくりを進めていきたい。日本語に訳しがい用語もあって難しいところもあるが、編集には気をつけたい。
8	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	商工労政課	花巻への誘致企業の状況に ついて	企業誘致と人口減のかかりについていろいろ対策を練っているようだが、新聞などで見ると、北上市や奥州市江刺などにかかり誘致されているようである。花巻への誘致事業はどのような状況になっているのか、花巻が位置的にまずい場所なのかどうか、これが人口増につながるひとつの手立てになると思うが、考えを伺いたい。	北上に企業が誘致されれば、雇用の創出などで花巻にも利益を与えるので、一概に悪いとはいえない。企業の方々とはいくつか話をするようにしている。花巻の企業誘致についていろいろ考えなければならぬ。工業団地の造成について調べることにしているし、工業団地と流通団地の両方の開発について、検討するように指示している。
9	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	道路課	市道井戸向滝田線の拡幅に ついて	市道井戸向滝田線の拡幅について先日道路課から説明を受けた。平成24年から着手するということであったが、地権者の一人が、「市の設計では駄目だ。擁壁を組み入れた設計にしろ。」ということで頓挫している。住宅もできてきて、通学路にもなっている。カーブのところが冬場特に危険である。すぐに着手してほしい。地権者は擁壁をつければ同意するといっている。事故があつてからでは遅い。	場所も地権者もわかっており、ご理解をいただくようお願いしているが、なかなかご理解を得られない。そこにだけ予算をかけるわけにはいかないが、いろいろな工法を検討しながら、なんとかしていきたいと思うし、地権者にも理解いただくように対応していく。
10	H26.7.19	市政懇談会 (H26)	八幡	商工労政課	工業団地の整備について	二枚橋工業団地北側の南寺林近辺に工業団地ができそうだと、うわさで聞いたが、情報があつたら教えてほしい。	場所を含めてコンサルに相談することとしており、場所等はまだ決まっていない。今の段階では言える状況にない。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	消防本部総務課	消防団員の確保と消防団組織の再編について	定住人口の減少や急激な高齢化により、近い将来地域コミュニティの維持が困難になると見込まれる。特に消防団員の確保は極めて難しい状況にあり、現役団員の負担は年々大きくなっている。婦人協力隊もまた同様である。団組織の単位を拡大するなど、再編成が必要な時期に来ているのではないか。	消防団員の負担が超過していることは団幹部および消防本部でも認識している。花巻市の消防団員の定員は2,142名でH26年4月現在で1,939名の在籍、約91%の充足率である。 団員の確保は、消防団が地域防災力の中核として重要であることを市民の皆さんに知ってもらうことが大事。消防演習や消防フェスティバルなどで訓練の成果を披露するとともに各地域においても消防について広く理解していただく活動をしている。 今後も様々な機会を活用して広報活動を行い、消防団協力事業所表示制度の普及や岩手県消防協会との連携を強化しながら一層の団員確保に努めていく。 組織の再編については、検討する時期にきているという認識。「花巻市消防団組織等見直し委員会」をH25年10月に発足し、消防団の組織や団員確保等について、それぞれの地域が置かれている実情と課題を把握するため、検討、議論を進めている。 婦人消防協力隊は、消防活動の後方支援だけでなく、家庭内や地区内での防火活動に大きな役割を担っており、地域防災には必要不可欠である。地域によって様々な課題があることは認識しているが、各地域の実情に応じた対応をお願いしている。 東和地域では特に浮田地区、田瀬地区が新入団員の確保に苦慮しているが、地域の皆さんでフォローしていただいている。 組織の再編については、行政区と消防団の区割りが違うと2か所の区長さんから言われている。消防団や地域の方々と話をしていきたいと思っている。 協力隊は地域にとって必要不可欠ではあるが、あまり無理しなくていいとお話している。
2	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	農政課	農業後継者の育成確保について	人口減少のみが理由ではないが、農業後継者の育成確保も困難な状況にある。今後は国の施策のみならず、地域独自の工夫が一層必要と思われるが、住民同士の話し合いでも解決策はなかなか見出せない。市がリーダーシップを発揮して施策を展開してほしいと考えるが、見解を伺いたい。 我々のような中山間地域では農業をやる人は60～70歳代。このあと誰が引き継いでいくのが問題と感じている。	現在は、国の施策の青年就職給付金制度で新規就農者の対応をしており、新規就農から安定するまでの5か年間毎年150万円を給付するもの。 特に農村はコミュニティの維持が大切。庁内で人口減少対策のワーキンググループを立ち上げ、農業分野も含め様々な角度で検討をはじめている。 旧東和町では定住促進をするために、新規就農も含めた移住者に対応する事業を進めてきた経緯がある。東和には新規就農者のための農園付滞在住宅が12棟あるが今は2棟しか入居していない。入居しやすい条件を整えながら、花巻市全体で考えたいきたい。
3	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	農政課	国の農業政策について	小さな農家は農業だけでは暮らしていけないので兼業で仕事をしたいが、地元で職を探すのが難しい。 今は担い手に農地を集約するというやり方になっているが、担い手の少ない中山間地において強引に国の制度を適用するのは無理がある。	農地中間管理機構や日本型直接支払制度など、国レベルで言えば強い農業を作る、担い手に集約して収益を上げるということになるが、市町村レベルでは集落の在り方、存続するためにはどうあるべきかということが課題。 集落を維持するためには小さい農家を守っていかなければならない。全国市長会でも中山間地域の補助は続けてほしいと発言している。集落を守るためにも農地を守るのは大事。
4	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	農政課	集落営農組織の経理などについて	国の新しい制度が施行されようすると、集落組織の中に新たな組織を作らなければならなかったりして、事務処理をする人が大変。 農協や集落営農組織の在り方を見直して、会計や通帳の管理などを農協に位置付ける、あるいはコミュニティ会議の中に農業分野の経理・総務に堪能な方を入れるなど考えてもいいと思う。	事務手続きが煩雑で大変ということは確かにその通り。コミュニティ会議でやるのは一つのアイデアだと思う。 今、コミュニティ会議について見直しをしている。特に旧3町は総合支所との役割分担を見直したほうが良いという話になっている。 人の配置や交付金の使い方にも関わってくることなので、皆さんから色々な形で意見を出していただいで検討を進めたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
5	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	市民生活総合相談センター	街路灯の整備について	東和小学校まで3kmほど徒歩で通っている子どもたちがいる。特に冬場は日照時間が少なく、下校時には暗く危険なので街路灯の整備をお願いしたい。	H18年度までは市役所の担当部署に街路灯の整備予算があったが、H19年度からはまちづくり交付金にシフトした。現在は担当部署に整備予算がないので、第一義的にはコミュニティ会議で話し合ってもらいたい。
6	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	花巻市博物館	東和ふるさと歴史資料館について	東和ふるさと歴史資料館は建物が古くなり危険ということで、地域で心配している。 観光ルートの流れも考え、旧土沢小学校跡地や成島振興センターに移転することも検討の中で考えてほしい。 観光施設などは一つだけボツンとあるより、近くにいくつかあるほうが訪れる人も見やすい。毘沙門天のふもとに資料館があってもいいと思うので、検討に入れてほしい。	東和ふるさと歴史資料館はH9年にオープンした。施設はS44年12月に建設された旧東和病院を改修したもの。建物が老朽化し消防法や建築基準法の指摘があり、不特定多数が見学や学習をする施設としては適切でない状況である。今のようを使い続けるためには大規模な改修が必要だが、建物の構造がブロック造で耐震改修が難しい。そのため、今年度の企画展示等は博物館と合同で実施している。 H26年春から、建物を残すかどうかも含めて地域の中で協議している。今後、専門委員会を立ち上げて検討する予定であり、現在、内部で構成員等について検討中。
7	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	農村林務課	有害鳥獣駆除について	先日、居住地域にクマが出没した。人身事故が発生しないように抜本的な対策はないものか。 ニホンジカの被害も増えているので、対応をお願いしたい。 ニホンジカはりんごの木の皮や豆の葉を食べる。徐々にイノシシの被害も出るのではないかと心配している。	全市的にクマの出没目撃件数は多い。実施隊にすぐ連絡しているが、なかなか捕獲に至っていない状況。人的被害が出てからでは遅いので、見かけたらすぐに市や警察に連絡してほしい。基本的には県の捕獲許可が必要だが、今年は11頭分の捕獲枠が市に下りてきているので、すぐに対応したい。 シカは東側(東和・大迫)で群れで目撃されている。イノシシは市内ではまだ確認していない。盛岡や紫波で発生しているようだ。 電気柵の設置費用の1/2を補助(上限7万円)する予算を126万円措置している。また、国の捕獲交付金事業を活用し、今年はニホンジカの捕獲頭数を100頭から300頭に拡大した。全県あげての対応を県に要望している。 実施隊による駆除の予算は6月補正でついているが、人が増やせていない。学校によっては鈴を携帯して登下校しているところもある。そのような対策も教育委員会として各学校に徹底していただきたい。 電気柵が必要な方はぜひ使っていただきたい。予算の枠を超えてもやらなければいけないものは、予算の増額を検討する。
8	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	秘書政策課	地上デジタル放送共同受信施設のケーブル更新費用について	南成島地区の共同受信施設はH10年に整備し、H20年7月にNHKの助成でデジタル対応に向けた改修を行った。 施設の耐用年数は20年といわれており、近い将来改修が必要になる。各世帯の負担を軽減するためにも、改修の際は市の補助をお願いしたい。	当初は県と旧東和町で補助し、各家庭の負担は少なく設置した。改修にあたっては、その時期までに各組合で積み立てをするように県から指導してきたと聞いている。 県でも住民負担だけでは難しいという認識のようで、H26年1月に県から、国で新しい事業を起こしてもらおうよう要望しているとのこと。
9	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	道路課	木製橋(南成島側の猿ヶ石川河川区域内)の腐食について	南成島側の猿ヶ石川河川区域内の「水車小屋」付近にある木製橋の欄干がかなり腐食してグラつき危険である。通行止めの表示がされていたが、景観上の観点からも早急に改修していただきたい。	現地を確認したところ非常に危険な状態だったのでまずは通行止めにした。すぐに補修の手配をした。9月中には補修を完了したい。
10	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	道路課	市道の落石について	市道北成島花巻線の一部区間で落石や土砂崩れがある。冬には30~50cmの落石もあった。何らかの対策をお願いしたい。 岩盤が崩壊する恐れはないのか。 小学生も通る道なので、早めの対応をお願いしたい。	定期的にパトロールして、落石した部分はすぐ片付ける。現地を確認したら、上のほうに倒木があったので処理の手配をしている。 現状で崩壊の恐れはないが、落石防止は防護ネットに対応したい。なお、倒木処理の際に岩盤崩壊の調査を実施する。 子どもさん達には近くを通らないようお話していただきたいし、学校にも対応をお願いしたい。
11	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	道路課	市道毘沙門線について	毘沙門線は急勾配で急カーブが多く、側溝に蓋がない部分があるので、毎年脱輪する車がある。側溝の蓋をするなどの対策をお願いしたい。	危険な箇所にはまずカラーコーンや看板の設置で対応したい。 土木施設要望は地域でまとめて提出してほしい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
12	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	東和総合支所地域振興課	散策路の整備について (北成島地内、猿ヶ石川堤防上部)	猿ヶ石川堤防に桜並木があり、東和にとっては一つの観光地点だと思いが、車から降りて散策する状況ではない。デイサービスのお年寄りなども寄れるように散策路の整備をお願いしたい。	堤防は延長が650m、上部の天端が3.6m。展勝園という名称で桜の名所として知られている。河川護岸として築かれた堤防で、国土交通省岩手河川国道事務所の管轄になる。 650mの散策路を整備となると費用対効果も考える必要があるが、前向きに考えていきたい。観光スポットは桜並木一つだけでなく何か所ないと成り立たないと思うので、観光客の人数やニーズも含めて地区全体の現状を把握する必要がある。 観光周遊ルートが必要であり、花巻市全体での連携も必要。地元のコミュニティ会議と総合支所で一緒に考えていきたい。東和地域は毘沙門山を観光の核にしたいと考えている。
13	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	東和総合支所地域振興課	南成島の桜並木の管理について	30年程前に南成島側に植えられた桜の木も間伐する時期だと思われる。専門家に適切な管理方法を聞いて対応したほうが良いと思う。	専門家に見ていただき早急に対応を考えたい。 成島の桜並木は素晴らしい。意外と知られていないのではないかとと思うので、もう少し宣伝したほうが良い。
14	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	地域づくり課	まちづくり交付金の配分について	コミュニティ会議の交付金で3km近くの街路灯を整備するのはとても難しい。交付金の配分のうち平均割をもっと増やしてもらうとか、特別に街路灯の予算をつけるなどのご配慮をお願いしたい。	まちづくり交付金の割合については色々ところで話が出ているが、旧花巻の中心部とそれ以外の周辺部での意見は全く正反対。中心部では1世帯当たりの金額に差があり不平等だという意見があり、周辺部ではまだインフラ整備が必要なのでもっと増やしてほしいという意見がある。 コミュニティ会議で必ずかかる経費を積み上げて、どのようにしていくかという議論をしないとイケない。街路灯などのハード部分を整備することは総合支所または市全体で考えるということも含めて検討していく。
15	H26.7.28	市政懇談会 (H26)	成島	長寿福祉課	訪問看護の際のお願い	社協などから(高齢者宅などを)訪問している職員が、除雪や道路整備などについて、「市に言えば対応してくれる」などと気軽に言わないでほしい。実際はそんなに簡単に要望が叶うものではないので、真に受けた老人から「市に言えばやってくれるそうだから、伝えてほしい」と頼まれて困る。	社協などの訪問介護員等全員に、市から徹底させることは困難だが、機会をとらえながら、お伝えしていく。
1	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	こども課	学童クラブ専用施設にかかる市の考えについて	平成24年度に学童クラブへの関心が高まり、設置に向けたアンケートをコミュニティ会議で実施したところ、八重畑小学校父兄の約3分の1から要望があった。その年の市政懇談会で学童クラブ設置要望を行い、市当局から、学童クラブ設置に向けた支援を行う旨回答をいただいた。以降学童クラブ設置準備委員会を計6回開催し、平成25年3月31日に、振興センター施設の一部を間借りする形で開所した。学童クラブ専用施設の場所について市の考えを聞きたい。	現在どこにどのように設置するか検討中。可能であれば、秋頃までに決めていただきたいのでご検討をお願いしたい。八重畑小学校では、現在1教室は対応可能との回答をいただいている。引き続き話し合いを行っていきたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
2	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	こども課	学童クラブの施設について (教室のスペースの問題)	<p>八重畑小学校で1教室可能とのことだが、一言だけ話したい。1教室の中にトイレ、流し台をつくり、机を置き、かばん置き場をそろえた場合、スペース的に可能なのだろうか。年頃の男女がいる中、ひとつの教室の中でトイレがあって感覚的にどうなんだろうか、子どもたちにとって環境がよいのか、そういった部分に配慮いただきたい。</p> <p>夫婦共稼ぎで、祖母がいるが高齢で送り迎えができない。仕事が終わってから迎えにいける。学童がなければ大変なので、学童クラブを維持してほしい。</p> <p>場所について、振興センターはいい場所だ。空き教室を利用する場合は、ひとつの教室にトイレ・流し台を作るのは、スペース的に厳しいと思う。</p> <p>2教室あると、子どもたちが学年ごとに、成長度合いで区分して使えるのではないかと思う。せめて2教室ほしい。現在は振興センターを使わせてもらっているが、ここはあくまでも猪鼻の公民館と地域コミュニティの拠点なので、そこを無視して学童クラブというわけにもいかない。早く場所を選定して子どもたちが安心してすごすことができるようにしてほしい。</p> <p>学校に学童クラブを設置する場合トイレが云々という話が出たが、渡り廊下をつけるなど、経費を安くする方法があるのではないか。いろんな手法を検討したほうがいい。体育館は使えるほうがいい。</p>	<p>皆さんの要望は理解したので、それを踏まえて何ができるか検討していく。</p> <p>学校のトイレについては、学童クラブ設置は目的外使用となるため、分離して使わなければならない。希望している部屋は給食配膳室の隣にあって、構造上難しい。</p> <p>学童クラブは学校と同じ建物でも出入り口を別々にしなければならぬ。また、場所の検討は今月に話をいただいていた。振興センターは使いやすい、機能を持たせて増設したらどうかと話があったが、農林事業補助により建設したものであり、国に対して用途変更に関して確認したところ、建物の増改築は目的外使用になると回答があった。引き続き協議していきたい。</p>
3	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	こども課	学童クラブの設置場所について	<p>学童クラブについて、今までの話は進展した話ではなく、何度も聞いた話である。いつから新しい体制で活動できるかを聞きたいのである。いったい誰が責任を取って前に進むのかわからない。もう少し進展した話を聞きたいと思っている。</p> <p>学童クラブ運営委員会の直近の会議では、こども課長ほか出席いただいで話し合いを行ったところであるが、学童クラブの設置については、①八重畑小学校の空き教室を利用する方法、②振興センター西側に増設する方法、③土俵の空き地に新設する方法の3つがある。可能性があると思うのは、八重畑小学校の空き教室だと思うし、その際には2教室を利用したほうが良いと思う。ほぼ共働きになってきて、児童数が減った場合も、学童クラブの利用者は増えるだろうと推測している。こども課には、一点に絞って八重畑小学校に2教室確保しつつ、小学校にも支障がないように詰めていただきたい。何とか将来を担う子供たちのために進めていただきたい。</p>	<p>皆さんが思うスピードではできないと思うが、皆さんのご要望としては、八重畑小学校に2教室利用する案もしくは振興センターの西側に増設する案の2つの考えをいただいた。文科省にも確認をしてみる。市の予算も潤沢ではないので、費用対効果を考えながら進めていきたい。</p>
4	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	観光資源にかかる土木整備について (土木施設要望の実態について)	<p>土木整備について、市当局は毎年各区長等に地域の土木要望などをたくさん出すよう調査書が回ってくるが、過去の内容を考えてみると、区長が変わるごとに要望内容が変わる。要望順位が一番になるとすぐできるかと思えばそうでもない。いったいこの土木要望はその実現と実態がどうなっているのか不審に思っている。区長が変われば、また一番からやり直し。ガス抜きなのか、単なる意向調査なのか、その実態と今後についてお伺いしたい。</p>	<p>希望に添えなくて申し訳ないが、大型の投資的事業にお金がかかる状態であり、厳しい財政状況にある。市長が口出ししないで建設部の基準でやらざるを得ない。</p> <p>土木施設要望については、一定のルールに則って、27のコミュニティで優先順位をつけて要望いただくようお願いしている。ご要望いただいた場合には、市では要望箇所を全部見て、市全体で考えて、まずは危険度の高いところ、交通量の多いところ、住宅が林立しているところ、防災面の重要箇所等を勘案して、順番に実施している。ルールで順番にしているが、実際に見てみると緊急度や危険度の低いところもある。市の予算も厳しく、10億20億の大型事業を進めながら生活道路を満遍なく行うのは正直厳しい状況である。地区の方々と一緒に現場を見てほしいということなので、職員が皆さんと一緒に確認し、要望箇所の理解を深めるようにしたい。</p>

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
5	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	土木施設要望に対する回答について	予算があるなしではなく、要望したことに対する責任ある回答をくださいと言っている。地域の区長が見回るときに、担当者が一緒に回って適切に判断しているということを理解することが大切だし、なぜこのような結果になったかコミュニティに回答するのが筋であろうということを行っているのだ。	採択し、予算が決定したときには説明している。不採択を説明するのは難しい。しかしながら、限界はあると思うが、説明は必要であろう。
6	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	観光資源にかかる土木整備について (何年も要望している事項の取り扱いについて)	3区の区長をやっている。前の区長もその前の区長も毎年同じ場所を要望しているが、着手してもらえない。要望したならば返事が来るようきちんと回答するように努めていただきたい。 何年も前から要望していることを考えてもらわないと困る。市長も市議会議員もどういふことを言って当選したか、公約を持っている。それに基づいて市の職員も公約を認識して仕事をしてもらわないと選んだ価値がない。市の職員は肝に銘じて仕事をしてもらいたい。 できないものは言ってもらったほうがいい。みんなよく理解していると思っていると思うが、わかっていないから質問をしているのである。	予算がついたらお話しする。 建設部の基準からすると、来年も再来年もできないというのもあると思うし、言いかねているところもあると思う。
7	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	道路要望について	合併前であれば問題点を整理して議員が要望をまとめていた。合併してコミュニティで取りまとめ、議員はそのことを議場で審議していると聞いている。道路整備について市とコミュニティの線引きをはっきりしてほしい。 コミュニティの指導によって大きな視野に立って要望するのが王道だ。八重畑としてどの道路なのか、当局は正直迷う。コミュニティの中でシステムを作るべきだし、これまでの経験を生かし知恵を授けるべきだ。	1回は説明させていただいているが、説明不足だったと反省している。もっと丁寧に説明していく。
8	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	観光課	観光資源にかかる看板の設置について (賢治関係)	何年前かに県道八重畑小山田線と県道羽黒堂八重畑線の合流地点の手前に、花巻農業高校あるいは羅須地人協会の案内標識をつけてくれと観光課に要望したところ、今はカーナビがあるので看板は必要ないと一蹴された。カーナビがついた車が100パーセントではないし、自転車やバイクで来るお客さんもいる。一蹴するような職員は要らない。観光課の職員には、どういうルートでお客さんがこられているかももう少し勉強してもらって、認識を改めてほしい。	現在、賢治関係の案内標識は賢治まちづくり課で予算を組んでやっている。標識を作る方向で検討してもらおう。改めて賢治まちづくり課に確認する。
9	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	教育企画課	石鳥谷地域の小学校統合について	子供の数が減っている。将来的にどうなっていくのか関心がある。かなり前から、少子化が進んできているので、小学校の合併を進めるべきではないかと思っている。小さい学校もほほえましいところもあるが、合併したほうがいいと思う。	石鳥谷地域の小学校の統合の話が進んでいるとは理解していない。住民のほうで統合を進めるべきというなら検討していくが、今のところそういう計画はない。
10	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	教育企画課	子どもの減少と小学校統合について	石鳥谷地域の子供の人数はどうなっていくのか。	八重畑地区は急激に減らない。石鳥谷小学校は急激に減る時期が来る。市全体でも減る。ただ、学校は地域において大事な役割を果たすので、子供の数が減るからといって、1箇所でもいいのかというと通学距離等があるので、一概に統合という話ではない。いろいろなことを考えながら、皆さんと話し合う時期は来ると思う。
11	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	教育企画課	大迫地域の小学校統合について	大迫では統合の話がないのか。	特に考えていない。
12	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	小中学校課	学校交流の実施について	少子化で児童数が減少している中で、八重畑小学校では12～13名の学級がある。石鳥谷中学校に行くのと400人クラスの学校になる。大きな学校に行くのが大変ではないか、小さい学校の児童はおどおどしているのではないかと心配している。合併しなくてもいいので、よその学校と理科やスポーツでもいいから交流して集団生活を学ばせるために、どこかの学校と交流する機会を作ったほうが、中学校に行ったときに仲間ができるのではないかと思う。レクリエーション的なものでもかまわない。	現在交流事業をしているのは、笹間第一小学校と笹間第二小学校、大迫地域の3小学校の2グループであり、その目的は複式学級の子どもたちに適正規模で行う実技教科を体験させることにある。教職員の数が少ないので、進めるのが大変。交流を行うのもなかなか難しいようだ。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
13	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	小中学校課	ALTの処遇について	英語を教えに来た先生が去年花巻市から解任された。今後どうするのか聞いたら、誰も手伝ってくれないので、自分で職を探すしかないと言って結局紫波で働くことになったという。学校訪問の際、昼食は自分ひとりで食べるという話を聞いて、ずいぶん冷たいと感じた。そういう例があったので、次の職場の相談に乗るとか、いくらか人として配慮があったほうがよかったのではないかと。相談に乗ってあげればいいのと思う。給食を一緒にとかなできないか。	外国人だったら、契約があったら納得すると思う。 給食についてはプログラムを組んでいるので、事前にわかればできると思う。 本市においてALTを解雇したことはなく、給食も児童生徒と共に食べている。 なお、H25年度において県の英語指導助手の配置減があり、中部教育事務所配置も2名から1名になっている。
14	H26.7.31	市政懇談会 (H26)	八重畑	道路課	道路の草刈について	自分の家のところはかなり傾斜があって、側溝が下にあるので、この年齢になると難しい。予算は厳しいようだが、刈りやすいようにできないか考えてほしい。場合によっては見ていただいて、なんとか草刈ができやすい形状にしてほしい。	沿道の草刈については、交差点で見通しが悪いところ等は市が直接やっているが、できるだけ、地域の方々にやっていただければと思う。どうしてもという場合は、話を聞いて検討させていただく。多面的機能支払交付金制度を活用できると思うので、協議して対応してもらいたいと思う。